

## アクティビティ STEP2-B1 インスピレーションカードゲーム ★★★★★

実施時間:45分

使用教材:アクティビティブック P.17 ガイドブック P.27

形式:グループワーク(4人程度)

準備物:模造紙6枚、インスピレーションカード、正方形型の付箋、

アクションの種類模造紙貼り付けラベル

(カテゴリ毎に切り取り、それぞれ模造紙の上部に1枚ずつ貼っておく)、

アクションを生み出せ!インスピレーションカード名刺カード両面

(両面印刷してカード毎に切り出す)

インスピレーションカードゲーム説明スライド(必要に応じ、人数分印刷・配布)

### <活動内容>

インスピレーションカードに書いてあるモノ・コト、社会課題、6種類のアクションを組み合わせ、社会課題解決のためのユニークなアイデア出しを行う。アイデア出しはゲーム形式で競わせる。

### <目標>

- インスピレーションカードに書いてあるモノ・コト、社会課題、6種類のアクションを組み合わせ、ユニークな解決策が付箋に書かれている
- 全員分のアイデアを見て、「身近にできそうなアクション」「難しそうなアクション」「最も社会問題解決に繋がっていそうなアクション」はどれか選べている

### <児童・生徒の状態目標>

- 楽しくアイデア出しが出来ている
- 自分のアイデアを他の人に分かり易く説明できている  
(他の人の説明時に、不明点を質問できている)
- 結果に関わらず、皆で健闘を称え合っている
- 「この種類のアクションなら取り組めそう」という期待感を持っている  
(この時点で具体的な行動計画まで考えが及んでいれば尚良い。)

### <授業の流れ>

概要	学習活動	留意点
社会課題と解決策を考える ディスカッション 5分	・授業内容を説明し、社会課題にはどんなものがあるか問いかける。 ・挙げた社会課題に対し、どんなアクションが出来るか考え、挙げてもらう。 <声掛けの例> 「これまでSDGsや子どもの権利条約等を学び、社会課題に対する皆さんの考え方も変わってきていると思います。今回は、世界にはどんな社会課題があって、私達にどんなことができそうか改めて考えます。以前出たものでも構いませんので、社会課題にはどんなものがあるか挙げてみましょう。」「次に、今挙げた社会課題に対し、皆さんにはどんなアクションが	・STEP1-B1、1-C実施済の場合、当時出た意見を再利用しても良い。

	出来るか考えてみましょう。」	
<p>カード配布 説明 5 分 ワーク 10 分</p>	<p>・アクションには 6 つの種類(啓発・政策提言・自己行動変革・資金調達・ボランティア・物資支援)があることを、それぞれ例を出しつつ説明する。</p> <p>・インスピレーションカードを配布し、社会課題に対するアクションのアイデアを考える。</p> <p>・インスピレーションカード、先に挙げた社会問題、先述した、6 種類のアクションから好きなものをそれぞれ 1 つずつ組み合わせ、どの様なアクションを起こせるか考え、付箋に書く。付箋の左上には、選んだアクションの頭文字を書き、○で囲む。</p> <p>(付箋の書き方の例) インスピレーションカード:靴下 アクション:啓発 社会課題:いじめ問題 を選んだ場合</p> <div data-bbox="392 1005 957 1534" style="border: 1px solid black; background-color: #ffff00; padding: 10px; text-align: center;"> <p>○啓</p> <p>靴下</p> <p>×</p> <p>いじめ問題</p> <p>=それぞれの個性を認める雰囲気づくり</p> <p>個性的なデザインの靴下で 登校する日をつくる</p> </div> <p>・どのグループが最も多く、ユニークなアクションを考えられるか、競争であることを伝える。</p> <p>・付箋は 6 種類のアクション毎に分けておく。</p> <p>&lt;声掛けの例&gt; 「社会課題に対するアクションは、大きく分けて 6 種類あります。(以下説明)」「これから、皆さんに挙げてもらった社会課題に対するアクションを考えるゲームを行います。これは皆さんへの“ギフト”です。このプレゼントを使い、アクションを出来るだけたくさん考えてもらいます。」「インスピレーションカードの中</p>	<p>・6 種類のアクションの定義は以下の通り。</p> <p>【啓発】他の人に、自分の解決したい問題について知ってもらうために活動する方法</p> <p>【政策提言】政策として変化を起こすために、政治機関に対し働きかける方法</p> <p>【自己行動変革】自分の良くない癖や習慣を、良いものに変えていく方法</p> <p>【資金調達】個人、企業、財団、政府機関などから、寄付を集める方法</p> <p>【ボランティア】自分の時間を、解決したい問題のために使う方法</p> <p>【物資調達】必要としている人に届けるため、物を集めて支援する活動方法</p> <p>・付箋は 1 つのアイデアにつき 1 枚。</p> <p>・STEP2-C1 に繋げるため、インスピレーションカードは「ギフト」と紹介する。</p> <p>・付箋の書き方は、説明スライドを見せながら説明することを推奨。</p>

	<p>から1つ、先程挙げた社会課題から1つ、今説明した、6種類のアクションから1つ選び、それらを組み合わせてどんなアクションができるか、付箋に書いていってください。どのグループが一番多く、ユニークなアイデアを書けるか競争です。1つのアイデアにつき、1枚の付箋を使ってください。アイデアは、6種類のアクション毎に分けて貼るようにしましょう。」</p>	
<p>アイデア共有 ディスカッション 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループ毎にアイデアを幾つ書けたか集計する。最も多かったチームを祝福し、全体でも祝福する。</li> <li>・書いた付箋を、6種類のアクション毎に分けて模造紙に貼り、全体に共有する。</li> <li>・全体を見ながら、どのアクションが身近にできそうか、どのアクションが難しそうか話し合う。</li> </ul>	
<p>最も問題解決に繋がっている アクションを選ぶ ディスカッション 10分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・どの種類のアクションが社会課題の解決に繋がっていると思うか話し合う。</li> <li>・直前に話し合った、「身近に出来そうなアクション」と「難しそうなおアクション」と、「社会問題解決に最も繋がっているようなアクション」の間にどんな違いがあるのか、何か気づいたことがあるか話し合う。</li> </ul> <p>&lt;声掛けの例&gt;</p> <p>「どのアクションの種類が、社会課題を解決する上で重要だと思いますか？理由も含めて考えてみましょう。」「先程話し合った、「身近に出来そうなアクション」と「難しそうなおアクション」と、今挙げてもらった「社会課題解決に最も繋がっているようなアクション」の間にどんな違いがあるか、何か気づいたことはありますか？」</p>	
<p>振り返り ディスカッション 5分</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・このゲームから気づいたこと、学んだことを共有する。</li> </ul>	